

公共施設共同利用開始！責任世代の目線で考える。



プロフィール

- 1994年3月23日生まれ
- 広陵西小/広陵中/畝傍高校/大阪大学法学部
- 2016年ITベンチャー企業(株)エクス入社
- 2019年First Step開業(主にIT事業を手掛ける)
- 2020年広陵町議会議員選挙初当選

28歳 最年少広陵町議会議員

ちぎた 慎也

もくじ

- 9月議会の概要
- 公共施設共同利用について
- 9月決算審査の注目ポイント
- 「あのナスの思い出」開催しました
- ちぎたの読書ノート
- チギトーーク

↓ SNSでも発信中! ↓



YouTubeでも発信中！

活動報告会



視聴は →
こちら →



2022年 **11月19日(土)** 19時～20時

チラシの内容・時事問題・最近の活動等をお話します。
アーカイブも残します！コメントお待ちしております！

広陵で働く！



視聴は →
こちら →



広陵で働く若手を取り上げる企画。
取材依頼もお待ちしております！

ちぎたの一般質問

- 質問1 公共施設相互利用の課題と今後のビジョンは
質問2 オーガニックビレッジにチャレンジし、給食の充実を！

詳細は下部に記載

一般質問

公共施設相互利用の課題と今後のビジョンは

広陵町では近年、公共施設の中長期的な管理・統廃合等を見据えた計画の策定や取り組みの実施がされています。広陵町は実は面積や人口に対して施設の数が多いです。例えば、広陵町(面積約16km²、人口約3.5万人)は体育館が5つ、ホールが1つですが、大阪の茨木市は(面積約76.5km²、人口約28万人)で体育館が5つ、ホールが2つです。もちろん、他の要素も考慮すべきですし、1自治体との比較例だけで判断すべきではないですが、考えるきっかけにはなります。

ちなみに、これは広陵町だけ特別なのではなく、奈良県では合併があまり進まなかったこともあり、近隣自治体でも同じような状況も見られます。

そこで検討されたのが、公共施設の相互利用です。これは、市町外の方も、市町内の方と同じ条件で施設を利用できるようにする仕組みです。この仕組みを実現するための実証実験が本年10月から開始されています。自分のまちの施設かどうかにかかわらず、近くの施設を利用しやすい方がみなさんにとってもメリットではないでしょうか。実際に、事前の調査では今回の実証実験の対象施設の利用者の約3分の1が既に他の自治体の施設を利用されているとのことでした。

本格的に共同利用を進めるとなれば、施設の設置・修繕費用等の負担に

コロナがはじまって3年弱。やっと様々な行事が本格的に再開されています。8月には大垣内立山まつりが大盛況のもと開催され、10月にはかぐや姫まつり、11月は靴下の市と行事が続きます。また、待ちに待った「だんじり」も今年は出ます。私の地元、三吉赤部を含む西校区は10月半ば、箸尾の戸閉祭は11月2日・3日に開催されます。

さらに、厚生労働省から正式に、屋外では原則マスク不要、と発表されました。コロナの数年で「常識」となってしまったものも、今一度合理性を見極め判断していきたいものです。

みなさまも適切な感染対策を行いつつ、イベントの秋を十分に楽しんでいただけたらと思います！

についても検討していく必要があります。みなさんからご意見をいただいて議論を深めていきたいと思っています。

オーガニックビレッジにチャレンジし、給食の充実を！

昨年3月に続き、給食関連の質問です。今回は、国の補助金を活用して、学校給食への有機食材の導入が後押しできないか聞きました。町内生産分だけでは厳しいが、対象の学校を絞ったり、町外からの調達での実施を検討したい、とのことでした。また、特定農業振興ゾーンを策定したあとの町としての農業に関する競争戦略が必要ではないか、という点も提案をいたしました。

質問全文



決算審査

防災情報一括配信システム事業

今までは、町からの連絡システム(HP、防災無線、LINE等々)が独立しており、情報を発信するためにはそれぞれに操作が必要でした。しかも、役所に行かないと操作ができないものもありました。この事業により、自宅からの操作での一括配信が可能になり、災害発生時にすぐ情報発信ができるようになりました。

災害発生時には、早く確実に情報を提供する必要がありますので、効果的な事業だと感じています。

ヤングケアラー対策

昨年の一般質問で私も取り上げたヤングケアラー問題につき、スクールソーシャルワーカーやスクールカ

ウンセラーに、児童や生徒がヤングケアラーかもしれないということを想定した上で関わるように徹底している、とのことでした。また、奈良県立教育研究所が奈良県内の生徒向けに令和4年6月に実施した調査によると、ヤングケアラーについて「聞いたことがあり、内容を知っている」との回答が、中学生20.3%、高校生32.2%であり、令和3年同時期の、中学3年生8.2%、高校生12.4%より大幅に改善されました。

はしお元気村マルシェ好調!

旧レストランの跡地を改修し、令和3年4月にオープンしたはしお元気村マルシェですが、令和3年4月から令和4年3月の1年間の売上が2,600万円強とのことでした。それまでの外で行われていたマルシェ

(朝市)の売上と比べると3倍強の実績となります。

引き続きイベントの企画等での販わり作りや、販売商品の追加等による売上の向上に取り組んでいただきたいと思います。

部活動外部指導員徐々に拡大

学校の先生方の業務軽減と、部活動での専門的指導のため、学校外から部活の指導者(外部指導員)を配置しています。令和3年度は2つの中学校で4名であり、現在は5名の外部指導員がいらっしゃるということです。県からの補助金も活用しつつ取り組んでいます。

先生方の業務削減は先生方の健康維持や、なにより、より良い教育のために欠かせません。引き続き実施状況や成果をチェックします。

公共施設共同利用から公共施設の今後を考える

一般質問でも取り上げたように、令和4年の10月から広陵町を含む近隣7市町を公共施設の共同利用の実証実験を実施します。実証実験の詳細や対象施設については、QRコードからご確認ください。

市町村の枠に限らず、近くの施設を利用できることは、非常に自然なことだと思います。この機会に、どこにどんな施設があると住民のみなさんにとってハッピーな実証実験のか。どんな施設が足りてないと感じるか、みなさんと意見交換をしたいと思います。お気軽にご連絡ください!



電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

内閣府から、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し給付金が支給されます。広陵町では11月中に詳細が公開されるようです。引き続き電気代等の高騰対策の声を上げていきます。

<対象>

●令和4年度住民税非課税世帯

●令和4年に収入が減収し、「住民税非課税相当」の収入となった、家計急変世帯

<支給額>

1世帯あたり5万円

ナスイベント「アノナス」開催!

広陵町といえば、靴下の町、かぐや姫の里、そして、ナスの町です!ということで、ナスのイベントをナス農家のユキファーム(老舗農家乾)さんと、CHORYO BREW PARKさんで開催。イベントのメインはナス素麺の流しソーメン。竹は自分達で切り出しました!そして、夏といったらスイカ割。こちらも大盛況!会場ではナスのアイスクリーム、略して「ナイスクリーム」も販売。忘れられない、あのナスの思い出ができたのでは ↓レポート↓



ちぎたの読書のノート

私、ちぎた慎也が いいな~と思った本(やその他のコンテンツ)についてご紹介するコーナーです。

第一弾は、さだまさしさんの

『風に立つライオン』

です。大沢たかおさん主演で映画化もされており、同名のさださんの曲が元です。ケニアの戦傷病院で働く日本医師の物語で、なにより、アフリカの自然描写がとてもキレイです!そして、主人公が病院で必死に働く姿、心が折れそうなときに「ガンバレ」と自ら励ます姿に自分もがんばろう!とおもわれます。



チギトーーーク

夏があっという間に終わってしまい、めっきり秋を感じる気候になってきました。今年の夏はコロナによる行動制限も緩和され、十分楽しめた方も多かったのではないのでしょうか。地域の夏祭りに、なんともいってもあのナスの思い出!スタッフの僕も思いっきり楽しみました。会場としてお借りした「CHORYO BREW PARK」は本当に最高の場所でした。今後も様々なイベントが開催されるようで要チェックです。やっぱりハード(施設)とソフト(事業・取組・人)の掛け算がまちづくりには大事だと実感しています。やりたいことがあるけどどうしたらいいか迷っている方がおられたらぜひお声がけください!一緒に形にしていきたいと思います。